

# もりのにぎわい通信

## 2018年5月26日 定例活動報告

日時：2018年5月26日（土）9：00～14：45

場所：小山町 観音地

天候：晴 気温 20～25℃ 湿度 53% 風向 北東 風速 6m

定例会参加者：19人：子供2人、大人17人（土地改良区4人）

### ■ 活動

9:00 スタッフ集合（植樹祭準備）

植樹苗:イタヤカエデ(4)、イロハモミジ(6)、キリ(1)、ケヤキ(4)、ニレ(3)、  
クルミ(3)、ヤマザクラ(2)、ウメ(1) 計24本

苗木と道具を配置(支柱:白いテープの印)

9:20 受付 参加費(子ども100円/大人300円)

植樹祭会場に移動(松林下の散策路)

9:35 開会

挨拶 千葉市板倉大椎土地改良区 菅野副理事長

9:40 グリーンウェイブの意義について 緑の環 金井理事長

9:45 苗木の植え方 説明 緑の環 星野

植樹:イロハモミジ (5本) 土壌改良(赤玉土、牛ふん堆肥、腐葉土)

カウントダウン (株)オーク情報システム 喜多様

10:00 水やり(世界中で現地時間10:00に行います)

10:05 諸注意と連絡

10:10 集合写真

10:15 植樹(他苗木16本)

植え場所の確認、元肥を入れる(牛ふん堆肥)、植樹、水やり

11:15 休憩

来賓・参加者挨拶

12:00 解散・昼食

13:00 除草作業、クズの蔓切り、乾燥対策、他

14:30 片付け

14:45 解散

.....

■ 活動報告

グリーンウェイブ植樹祭も今年で9回目になりました。(この行事は、一般財団法人セブン-イレブン記念財団の助成を受けております。)ところが、地域の小学校の運動会や冠婚葬祭出席など関係者の欠席で植える苗木の本数よりも参加者の方が少なめとは予想外でした。

それでも、今回初参加のみなさんも加わり新鮮な気持ちになります。会場は、松林下の散策路に集合してもらい土地改良区副理事長萱野一郎さんの開会のご挨拶から緑の環の金井理事長のグリーンウェイブの意義と進めていきました。

先月チップ舗装された散策路沿いにイロハモミジとイタヤカエデを植えるのが念願でした。松の緑にモミジの紅葉、黄葉が映える景色をイメージしたり散策路のモミジのトンネルは憧れでした。ところが、今回植える場所は砂質土壌で保水力や保肥力が小さく夏には地温が上がってしまう極めて問題のところ。(石谷栄治さんの家畜堆肥植樹事業(JRA)参照)

夏に地温が上がるとは、おそらく海岸の砂の様なものでしょうか。モミジが育つには条件が悪いので直径1mと大きめの穴に赤玉土2袋と腐葉土1袋と一輪車1台分の牛ふん堆肥を混ぜ土壌改良をしてもらいモミジを植えることにしました。

メインのモミジ5本に参加者がそれぞれ分かれ10:00までの10分間で植え終わる予定でした。みんなで力を合わせて……。カウントダウンは喜多さん。既にカウントダウンを待っているところがあれば、お願いした土壌改良の赤玉土を入れ忘れたのに気づき、喜多さんが「時間を3分延長します。」そのグループに応援が入って大急ぎで植え直すことに。10秒前のカウントダウンになんとか間に合い一斉に水を上げることが出来ました。

土壌改良と夏の乾燥対策で根付いてくれるといいのですが……。

この他、(株)オーク情報システムの金子様ご自分で育てたケヤキ、ニレ、クルミ、ヤマザクラ、ウメ計13本の鉢植えをお持ちくださいました。その苗木を手分けしてみんなで植えました。以前頂いたクルミは、根付いて大きくなってきました。クルミの実をリスや人間も食べる日もそう遠くないかもしれません。ニレの木は、ブドウと相性がいいそうです。ブドウ棚ができるかもしれません。イタヤカエデからはメイプルシロップが採れるそうです。試してみたいとたくさんの方の森の恵みに期待を寄せています。

こうして、11時前には24本全て植え終わりました。休憩を挟んでご来臨の皆様のご挨拶と参加者からの感想などお話を頂きました。

その中で土地改良区前理事長小高さんのお話を補足しますが、遡ること2006年9月5日に国税局の競売に掛けられたこの土地を土地改良区の英断で3,125万円の大金を出して産

廃業者と 65 万円の僅差で競り勝って落札購入。入札金額は、情報は漏れるといけないので国税局に向かう行きの電車の中で決めたそうです。（秘話）

決断した理由は、村田川源流域の環境と農業や林業を守り育てるために緊急臨時総会で決議してのことでした。入札に向かったのは、土地改良区理事長歴任の加藤惣衛さん、山中一三さん、当時理事長の小高守正さんと不動産に詳しい村野彰さんの 4 人でした。あの当時は、地域が歓喜に沸いたもので新聞の取材、TV の記者会見、地域版号外も出ました。その後の話し合いで責任の一端は千葉市にもあると認めただうえでこの土地の買取交渉を重ねましたが、予算がないと一方的に断られました。また、違法山砂採取跡地の復元のアドバイスなど当時の小高理事長や土地改良区理事、小山町や近隣住民との話し合いも重ねたものの納得の行くものではありませんでした。行政に復元構想を頼っていてももちが明かないと暗中模索の月日が経ちました。

最初の植林のきっかけは、2007 年 5 月スギ苗を 350 本頂いて植えたことでした。しかし、重機で踏み固められたカチカチな土地はスコップが刺さらない程でとても植えるのに苦労しました。あれから 12 年規模も参加者も年々小さくなっていますが、諦めずに毎年行ってきました。やらなくちゃいけない理由があるからかもしれません。

念願だったチップ舗装が完成して軽トラックが中まで入って行けるようになり、間伐材の伐り出しや運搬作業がしやすくなりました。12 年経って全体のランドデザインが出来上がり森づくりの折り返し地点ようやく辿り着いた気がします。5 年後、10 年後の森の姿も見えてきましたが、ゴールはありません。

ところで、お昼は薄曇りの心地いい風が時折吹く中、室谷さんお手製の美味しいちらし寿司をご馳走になりました。午後からは、刈払機での除草作業と散策路沿いに伸びたクズの蔓切、伐った枝の回収と手分けして行いました。

毎年いろいろな方が携わってご参加いただけるので楽しみです。地域や世代を越えて活動が次の世代に受け継いで行かれるといいと願っています。皆様、グリーンウェイブへのご協力ありがとうございました。

（記録 星野 静枝）

.....

お知らせ      ホームページもご覧下さい→ <http://www.g-cycle.org/>

次回の定例会は、6 月 23 日（土）（雨天時 6 月 24 日（日））に行います。

除草作業・枝の剪定・クズの除去を行いますのでよろしくお願いします。



集合写真



グリーンウェイブ植樹祭開会



萱野副理事長挨拶



グリーンウェイブ植樹祭の意義について

金井理事長



苗木の植え方の説明



苗木 5 本の植樹準備作業



土壌改良 (赤玉土・腐葉土・牛ふん堆肥)



カウントダウンによる水やり



大きく育ちますように！



カウントダウンによる水やり



水をたっぷり上げようね



集合写真



グループに分かれ 19本の苗木植樹



ケヤキの植樹



ヤマザクラの植樹



ニレの木の植樹



休憩



参加者挨拶



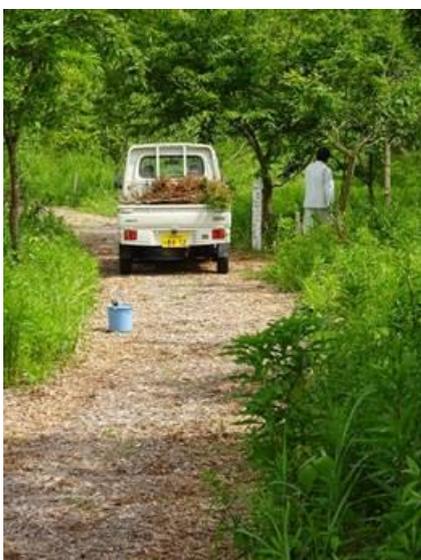




皆様、ご感想ありがとうございました。



午後からの草刈・枝の剪定・クズの除去



枝打ちした枝を軽トラで運ぶ



絡みついたクズの蔓切



散策路沿いのクズの除去



ピンク色の花はシモツケ



満開のウツギ（ウノハナ）



積んでおいたシイタケの樽木を並べる



コガネムシの幼虫でしょうか？



ここにサワガニがいました。